

ドライブスルー方式等の導入

【実施内容】

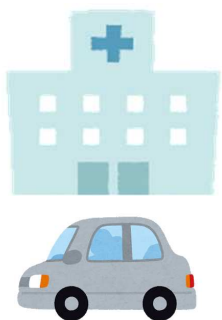
発熱者・帰国者・接触者相談センター等がPCR検査が必要と判断した方に対し、院内感染リスクを減らし効率的に検査を行うため、医療機関の駐車場等において、医師または看護師による検体採取を実施

【開始時期】

帰国者・接触者外来がフル稼働できないゴールデンウィーク前からを想定

ドライブスルー方式

※医療機関や保健所の駐車場で実施



ウォークイン方式

※陰圧テントを設置し実施



※メリット

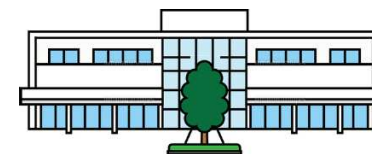
- 院内感染防止
- 帰国者・接触者外来の負担軽減

分離

通常の診療



PCR検査の実施



県衛生環境研究所
鳥取大学医学部附属病院



検体採取

【実施体制】（場所：医療機関や保健所）

検体採取：医療機関の医師等

受付・車の誘導：中部・西部は県職員

検体搬送：各保健所